

『最低』 作：ポチ子

『最低』 作：ポチ子

部活辞めたら、

学校辞めたら、

仕事辞めたら、

良いことなんか無い気がした。

だから、全部辞められなかった。

好きじゃなかったけど、

辞める勇気がなかった。

不安だったんだ。

何も無くなる自分が。

惨めになるのが嫌だった。

それで気がついたんだ。

私、ずっと馬鹿にしてたんだって。

そういう人たちのこと。

自分とは違う世界にいる、

自分より下の奴らだって、

ずっと馬鹿にしていた。

優しいフリして、

ずっと最低な奴だったんだよ、私。